



## 山崎プール跡（浜名郡雄踏町山崎）

田畑政治が惚れ込んだ古橋廣之進の水泳のルーツは、地元の篤志家である江馬氏が浜名湖畔の一角を板で仕切り、岸にスタンドをつけた50mプールにある。当時4年生の廣之進は、父に連れられてプール開きに行った際、突然「お前も水泳選手にならんか」と勧められたことで水泳を始めた。フジヤマのトビウオを顕彰した碑には、廣之進の自署による「力泳三十年」、結びには「私は水泳から「努力」「我慢」「克己」を学んだ」と刻まれ、初の名誉町民（現在は浜松市の名誉市民）となった。



雄踏小学校の浜名湖遠泳



世界新に向けての激泳